

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	1169	(H.24)No.	1169
-----------	------	-----------	------

事務事業名		図書館運営費			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
教育委員会事務局		図書館		木村ユミ子	63-3260
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	昭和 44 年度 ~ 平成 年度	図書館法、名張市立図書館設置条例、名張市立図書館規則			

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	4	心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
	基本政策	2	豊かな心をはぐくむ生涯学習の推進
	施策	1	生涯学習
	小施策	1	学習機会の総合的整備
	重点施策コード		

2. 予算区分

会計区分		事業コード	507502
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	教育費	図書館費	
項	社会教育費	(小事業名)	
目	図書館費	図書館運営費	

3. 事務事業の概要

事業概要	
資料を収集し、整理し、保存して、市民の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーションに寄与します。各種催し物を企画、実施して図書(読書)へのきっかけ作りを行います。すべての利用者に等しくサービスの提供が図れるように移動図書館の運行、障害者サービスの実施等を行います。	

めざす効果(事業目的)
市民の教養と文化の発展に寄与します。

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)	平成24年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	主な事業の実績・計画	[事業内容(事業量)・事業費] 入館者:276,927人 蔵書:294,910冊 貸出:617,192冊 (本館 556,395冊) (BM 60,797冊) 図書等購入費:16,627千円 図書 : 9,414冊 視聴覚 : 48点 リクエスト :50,663冊 レファレンス : 6,159件 開館日数 293日	[事業内容(事業量)・事業費] ・資料の収集・整理・保存 ・資料の貸出(予約、読書案内) ・レファレンスサービス ・各種催し物(展示)の実施 ・委託による効果的サービスの実施	市が直接実施 業務委託(全部・一部)により実施 指定管理 補助金・交付金 その他 ()	
			平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	平成27年度 (計画)
直接事業費	54,186千円	51,059千円	51,059千円	51,059千円	51,059千円
財源内訳(千円)					
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他(諸収入)		100			
一般財源	54,186	50,959	51,059	51,059	51,059
人工数					
職員	1.95人	2.00人	2.00人	2.00人	2.00人
臨時職員等					
概算人件費	14,235千円	14,600千円	14,600千円	14,600千円	14,600千円
+ 総事業費	68,421千円	65,659千円	65,659千円	65,659千円	65,659千円

概算人件費は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の()内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
成果指標	目標	市民1人あたりの年間図書貸出冊数	冊	-	-	-	6.4
	実績			6.1	6.7	6.9	7.0
成果指標	目標	年度内に図書の貸出を利用した市民の割合	%	-	-	-	16.5
	実績			15.6	15.9	15.8	15.7
	目標						
	実績						

6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
市民1人あたりの年間図書貸出冊数はH24年度目標値を超え微増を続けていますが、年度内に図書の貸出を利用した市民の割合は微減しています。常時図書館を利用する市民の割合は減っていますが、1人の利用者が1回に借りる図書の冊数は増えていると考えられます。	利用者と直に接するカウンター業務は民間事業者へ委託しているため、事業者と協同して図書館サービスの向上に努めます。

7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
利用者の要求は、多様化・高度化しています。また、今後は従来の紙媒体による図書資料の他、電子書籍による情報提供も視野に入れていく必要があります。	

8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢 ・ の場合) (4)は の場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	「雑誌スポンサー制度」を導入する。
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ない	
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映予定なし(該当しない)	
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	講座・講演会を企画し、そのテーマに関連する図書の展示を行い、利用の促進に努める。

9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む) 継続(事務改善)
「継続(現行)」の場合のみ理由を記載

特記事項